

創造の樹液：

創造のプロセスについての考え

詩、それはまるで
樹木のようにだ

気づかぬうちに
創造の樹木から種子となり
勢いよく飛び散る

そして冷たくて不毛な存在に落ちると
その大部分は、休眠するか死ぬかだ

しかし、時には奇跡が起こる

言葉に魔法がかかり
春の花のように
創造の種子は、芽吹く

そして、みるみるうちに
たくさんの樹液が
ペン先から迸る

紙に書かれた数行の詩は
飛び散った花火のように
紙の上に残された
創造の一片にすぎない

- T Newfields (和訳：Teresa と吉田典子)

開始：1993年 静岡市・完成：2019年 横浜市

